

オンラインシラバス 高校2年生 本科

文系・論理国語	-----	2
文系・古典探究	-----	3
理系・現代文Ⅰ	-----	4
理系・古典Ⅰ	-----	5
日本史探究	-----	6
世界史探究	-----	7
地理総合	-----	8
公共	-----	9
文系・数学Ⅱ	-----	10
文系・数学B	-----	11
理系・数学Ⅱ	-----	12
理系・数学B	-----	13
理系・数学C	-----	14
理系・物理基礎	-----	15
理系・化学	-----	16
文系・生物基礎	-----	17
理系・生物基礎	-----	18
英語コミュニケーションⅡ	-----	19
論理・表現Ⅱ	-----	20

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	論理国語	本科学系	3	蔭木

#### 到達目標

- ・ 様々な学問分野の論説文に触れることでその論理を理解する力を養う。
- ・ 論理的に文章を書く力を養う。
- ・ 漢字や語彙など、読解の基礎となる知識を蓄える。
- ・ 問題演習を通じて様々なパターンの設問形式に習熟する。
- ・ 読書を通じて深い教養を養う。

#### 授業の進め方・学習方法

- ・ 文章の論理構造を読み解くことを目的とした指導をおこなう。
- ・ 読み取ったことを正確に表現するための記述指導をおこなう。
- ・ 知識領域の定着をはかるための小テストを適宜実施する。
- ・ 問題演習は、得点するための解法について徹底的に確認していく。

#### 授業スケジュール

1学期	「物語るという欲望」 「ファッションの現象学」 「桜が創った『日本』」
1学期中間試験	
1学期	「こころ」
1学期期末試験	
2学期	「変貌する聖女」 「貧困は自己責任なのか」 入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	「現代日本の開花」 「ファンタジー・ワールドの誕生」 入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	「虚ろなまなざし」 「つながりと秩序」 入試問題演習
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
論理国語	筑摩書房	

#### 参考書

書名	著者	出版社	備考
頻出入試漢字コア2800		桐原書店	
現代文キーワード読解		Z会	

#### 担当者からのアドバイス

小説や評論に限らず幅広く文章を読み、内容を正しく理解することが重要です。読解のスタイルを身に着けることは、言語表現を磨くことにもつながります。読む・書く・話す力をバランスよく養ってください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典探究	本文文系	3	岡田

到達目標
古文・漢文読解に必要とされる基本事項の定着を図り、初見の文章に対応できる力を養う。

授業の進め方・学習方法
既習事項の確認を通し、定着が不十分な箇所は振り返りを行う。適宜確認テスト等も実施する。読解問題の解法テクニックにも慣れていく。

授業スケジュール	
1学期	昨年度、教科書で触れていない「軍記物語」を扱い、基本的な文法事項をはじめ、文学史、古文常識等の知識の定着を図る。漢文の基本構造を理解し、受身、使役、否定の句形を理解する。
1学期中間試験	
1学期	和歌、和歌説話、歌論に触れ、修辞技法等の和歌知識の理解を促す。故事成語等の知識を増やす。漢詩を題材にし、漢詩の基本知識、唐の三大詩人等について学ぶ。
1学期期末試験	
2学期	大学入試問題等の演習を行い、既習事項でも解ける問題があることを知り、学習意欲の向上をはかる。扱う大学は、共通テストに形式が近い日本大学、東洋大学、中央大学等を扱う予定。
2学期中間試験	
2学期	大学入試問題等の演習を行い、既習事項でも解ける問題があることを知り、学習意欲の向上をはかる。扱う大学は、共通テストに形式が近い日本大学、東洋大学、中央大学等を扱う予定。国公立大学の記述問題にも挑戦する。
2学期期末試験	
3学期	1年のまとめとして、基本的な文法問題から実際の入試問題まで演習を行い、学年当初からの自分と比較して、古文・漢文学習に自信を持たせる。
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、朝テストや授業内配布資料の提出状況、授業態度などを加味する。
レポート		
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
『古典探究古文遍』	大修館書店		
『古典探究漢文遍』	大修館書店		
『体系古典文法』	数研出版		

担当者からのアドバイス
復習を丁寧に行い、できる部分を一つでも多く積み上げていくこと。古文単語、古文常識についても、他教科との関連も意識して知識の獲得を目指すこと。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文Ⅰ	本科学系	2	蔭木

#### 到達目標

- ・様々な学問分野の論説文に触れることでその論理を理解する力を養う。
- ・漢字や語彙など、読解の基礎となる知識を蓄える。
- ・問題演習を通じて様々なパターンの設問形式に習熟する。
- ・読書を介して深い教養を養う。

#### 授業の進め方・学習方法

- ・文章の論理構造を読み解くことを目的とした指導をおこなう。
  - ・読み取ったことを正確に表現するための記述指導をおこなう。
  - ・知識領域の定着をはかるための小テストを適宜実施する。
  - ・問題演習は、得点するための解法について徹底的に確認していく。
  - ・課題図書を選定しその内容理解を問う。
- 解説と読解を中心に進め、適宜問題演習を行うことで理解・考察を深めます。現代文学習における読解力、理解力、知識力をバランスよく鍛えることを意識して授業に臨んでください。

#### 授業スケジュール

1学期	「物語という欲望」 「ファッションの現象学」
1学期中間試験	
1学期	「こころ」
1学期期末試験	
2学期	「貧困は自己責任なのか」 入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	「現代日本の開花」 入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	共通テスト対策プリント
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
プリント教材		

#### 参考書

書名	著者	出版社	備考
頻出入試漢字コア2800		桐原書店	
現代文キーワード読解		Z会	

#### 担当者からのアドバイス

小説や評論に限らず幅広く文章を読み、内容を正しく理解することが重要です。読解のスタイルを身に着けることは、言語表現を磨くことにもつながります。読む・書く・話す力をバランスよく養ってください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典Ⅰ	本科理系	2	岡田

到達目標
古文・漢文読解に必要とされる基本事項の定着を図り、初見の文章に対応できる力を養う。

授業の進め方・学習方法
既習事項の確認を通し、定着が不十分な箇所は振り返りを行う。適宜確認テスト等も実施する。読解問題の解法テクニックにも慣れていく。漢詩を題材にし、漢詩の基本知識、唐の三大詩人等について学ぶ。

授業スケジュール	
1学期	昨年度、教科書で触れていない「軍記物語」を題材に、基本的な文法事項をはじめ、文学史、古文常識等の知識の定着を図る。漢文の基本構造を理解し、使役、受身、否定の句形を理解する。
1学期中間試験	
1学期	和歌、和歌説話、歌論に触れ、修辞技法等の和歌知識の理解を促す。故事成語等の知識を増やす。漢詩を題材にし、漢詩の基本知識、唐の三大詩人等について学ぶ。
1学期期末試験	
2学期	大学入試問題等の演習を行い、既習事項でも解ける問題があることを知り、学習意欲の向上をはかる。扱う大学は、共通テストに形式が近い日本大学、東洋大学、中央大学等を扱う予定。
2学期中間試験	
2学期	大学入試問題等の演習を行い、既習事項でも解ける問題があることを知り、学習意欲の向上をはかる。扱う大学は、共通テストに形式が近い日本大学、東洋大学、中央大学等を扱う予定。国公立大学の記述問題にも挑戦する。
2学期期末試験	
3学期	1年のまとめとして、基本的な文法問題から実際の入試問題まで演習を行い、学年当初からの自分と比較して、古文・漢文学習に自信を持たせる。
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、朝テストや授業内配布資料の提出状況、授業態度などを加味する。
レポート		
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
『体系古典文法』	数研出版	
自作、教科書本文プリント等		

担当者からのアドバイス
復習を丁寧に行い、できる部分を一つでも多く積み上げていくこと。古文単語、古文常識についても、他教科との関連も意識して知識の獲得を目指すこと。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史探求	本科	4	岸野

到達目標
1. 原始から近世にいたるまでの流れをつかみ、政治史・外交史・社会経済史・文化史の重要知識の習得をはかる。 2. 共通テストレベルの基礎学力の定着と、難関国公立・私大レベルの入試に対応できる応用力・記述力の養成をはかる。

授業の進め方・学習方法
1. 各時代の概念や基本事項の理解を通じて歴史の本質を探究しつつ、入試頻出事項を確認しながら難関大学入試に対応できる実践的な授業を展開する。 2. 資料集を用いて、写真や図・史料などの見かたを学ぶ。 3. 重要事項の確認テストを実施する

授業スケジュール	
1学期	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷
1学期中間試験	
1学期	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士
1学期期末試験	
2学期	第2部 中世 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化
2学期中間試験	
2学期	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 第3部 近世 第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化
2学期期末試験	
3学期	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、小テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を平常点として加算します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材			
	書名	出版社	備考
	詳説日本史	山川出版社	
	詳説日本史図録 第10版	山川出版社	

担当者からのアドバイス
歴史は暗記だと言われます。確かに最後はそうなのかもしれませんが、やみくもに用語を大量に覚えたところで、何の役にも立ちません。みなさんは各時代でその内容の登場人物になったつもりで、その人物の立場に立って考えてみてください。権力者、その政敵、周辺国、農民、商工業者、女性・・・テーマでその内容の登場人物の立場に立って考えてみると、その人物がおかれた状況がわかり、何がしかったのか、何を变えたかったのかが見えてきます。それが理解できた後の暗記はもはや暗記ではなく、歴史を理解したことによる必然の知識となります。何より歴史が生き生きと動いて学ぶ楽しさをもたらしてくれます。歴史を学ぶ意味を共に考えながら授業を進めていきたいと思ひます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史探究	本科	4	沖

**到達目標**  
 H2中に大学入学共通テストレベルの実力をつけるのはもちろん、難関私大・国立2次試験（論述）にも対応できる知識・実力へ仕上げていく。[中期] H1で学習した内容を踏まえて、模擬テスト等で得点できる実力を養う。[長期] 世界史の通史を学習し、受験に対応できる知識を身につける。単なる知識の暗記にとどまらず、移り変わる世界の様子を少しでも読み解ける「教養科目」としての世界史意識を持たせる。

**授業の進め方・学習方法**  
 各事項のイメージを具体化し、それらを要点整理ノートに書き込むこと。ただ板書を描き写すのではなく、感想等メモの多いオリジナルノートを期待する。地域ごと（ヨーロッパ・アジア・アメリカ等）の通史を通じて、各国の歴史・文化・他国との関係を理解していく。原則として講義の形式をとる。知識を問う分野と関心を高める分野を整理しながら授業を展開し、受験レベルとして必要な内容を身につけていく。【講義】を受けたのち、適度な【演習】を繰り返すことで知識は定着する。決して受講したままにしない心がけが必要となる

授業スケジュール	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古代オリエント世界               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)メソポタミア</li> <li>2)エジプト</li> <li>3)地中海東岸の諸民族</li> </ol> </li> <li>●古代ギリシア・ローマ世界               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)古代ギリシア世界の形成</li> <li>2)ヘレニズム世界の形成</li> </ol> </li> </ul>
1学期中間試験	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>3)古代ローマ世界の形成</li> <li>4)ローマ帝国の繁栄と衰退</li> <li>●古代インド・東南アジア世界               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)古代インド世界の形成</li> <li>2)古代東南アジア世界の形成</li> </ol> </li> </ul>
1学期期末試験	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中華文明の形成               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中国文明の発祥</li> <li>2) 秦・漢中華帝国の形成</li> <li>3) 魏晋南北朝～隋へ</li> <li>4) 隋唐帝国と東アジア世界の発展</li> </ol> </li> </ul>
2学期中間試験	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>5) 宋と北方民族</li> <li>6) モンゴル・元とユーラシア世界</li> <li>●イスラム世界の成立と発展               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)イスラム世界の成立</li> <li>2)イスラム世界の変遷①</li> <li>3)イスラム世界の変遷②</li> </ol> </li> <li>●西欧世界の形成と発展               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)西ヨーロッパ世界の成立</li> <li>2)西ヨーロッパ世界概略史</li> </ol> </li> </ul>
2学期期末試験	
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>6)中世都市の成立と封建社会の崩壊</li> <li>7)ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界</li> <li>8)中世ヨーロッパの文化</li> <li>●近代の成立               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ルネサンスと大航海時代</li> </ol> </li> </ul>
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、小テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を平常点として加算します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
世界史探究	東京書籍	
最新世界史図説タペストリー	帝国書院	
重要語句 チェック	啓隆堂	朝テストはこの問題集から出題して定着させる

**担当者からのアドバイス**  
 とかく歴史は暗記だと言われます。確かに最後はそうなのかもしれません。しかし、やみくもに用語を大量に覚えたところで、何の役にも立ちません。みなさんは各時代でその内容の登場人物になったつもりで、その人物の立場に立って考えてみてください。権力者、その政敵、周辺国、農民、商工業者、女性・・・各テーマでその内容の登場人物の立場に立って考えてみると、その人物がおかれた状況がわかり、何がしたかったのか、何を变えたかったのかが見えてきます。それが理解できた後の暗記はもはや暗記ではなく、歴史を理解したことによる必然の知識となります。何より歴史が生き生きと動いて学ぶ楽しさをもたらしてくれます。歴史を学ぶ意味を共に考えながら授業を進めていきたいと思ひます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	地理総合	本科	2	土肥

到達目標
地球や地球上の地域についてのイメージをつかんだうえで、地理的思考力の土台を構築する。

授業の進め方・学習方法
プリントや問題集を用いて授業を行う。1学期に地球の姿や地球の全体像を捉え、2学期には地球上の各諸地域について理解を深めていきます。3学期には、1学期と2学期で学習した地球の地域にまつわるさまざまな問題について考察し解決策を探っていきます。

授業スケジュール	
1学期	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界 1節 地球上の位置と国家 1、地上の現象と地球上の位置 2、経度の違いと時差 3、球面と平面の世界 4、国家の領域と国境 第2章 人間生活を取り巻く環境 1節 人々の生活と地形 1、世界の大地形と人々の生活 2、山地・平地の地形と人々の生活 3、海岸の地形と人々の生活 4、氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 1学期中間試験
1学期	2節 人々の生活と気候 1、生活と気候のかかわり 2、熱帯の気候と人々の生活 3、乾燥帯の気候と人々の生活 4、温帯の気候と人々の生活 5、亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 3節 人々の生活と産業・文化 1、生活を支える世界の農業 2、生活を支える世界の工業 1学期期末試験
2学期	第3章 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国の生活・文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 南アジアの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化 2学期中間試験
2学期	7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化 2学期期末試験
3学期	第4章 地球的課題と私たち 1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食糧問題 6節 世界の都市・居住問題 学年末試験

成績評価方法			
種別	割合(%)	評価基準など	
定期試験	80	定期テストを中心に、授業内実施の小テスト、レポート、授業への取り組み状況を平常点として加味して評価する。	
レポート	0~20		
小テストなど	0~20		
授業での取り組み	0~20		

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
新地理総合	帝国書院		
新詳高等地図	帝国書院		
新詳地理資料 COMPLETE 2026	帝国書院		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
地理は「今」を読み解く学問です。今、地球で起きているさまざまな現象には必ず理由があるはず。「なぜ」そうなったのか。高校1年生の歴史総合で時間を学び、高校2年生の地理総合で空間を学ぶことで世界で起きている事象のメカニズムを「理解」し、それを「説明」できるようになりましょう。世界のあらゆる地域で日々引き起こされている現象に興味をもち、地球の未来を創りだしましょう。身についた地理の教養は、自らの知識を深めるにとどまらず、これからの人生を豊かにするはずですよ。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	公共	本科	2	村田

### 到達目標

1. 現代社会に関する基礎的な知識や資料読解等の技能を習得する。
2. 知識・技能を活用して、社会現象や社会課題について思考・判断して、その内容を表現できる。
3. 社会課題の解決など主体的に社会と関わろうとする態度を身につける。

### 授業の進め方・学習方法

授業ではプリントを用いた講義を中心に、グループ活動や自分の意見をまとめる活動を行う。  
グループディスカッションの機会も設ける予定であり、自分以外の意見を受容し、より発展的な考えを形成するきっかけとしてほしい。

### 授業スケジュール

1学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第3章 他者とともに生きる 第5章 民主国家における基本原理	第2章 人間としてよく生きる 第4章 民主社会の倫理
1学期中間試験		
1学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	第2章 日本の政治機構と政治参加
1学期期末試験		
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章 国際政治の動向と課題 第3章 現代の経済社会	
2学期中間試験		
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第4章 日本経済の特質と国民生活	
2学期期末試験		
3学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	
学年末試験		

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に、出席や小テストなど授業での取組状況を平常点として加味して評価を行う。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
公共 共につくる未来 新訂版	実教出版	

### 担当者からのアドバイス

「公共」で扱う内容は、日々のニュース等でも取り上げられる身の回りの事象が多く、そのため学習にあたっては、日常生活の中でいかに自分の周りの情報に敏感でいるかが重要となる。社会の出来事に興味を向けて、授業で学習した内容を実社会と結び付けること、「cool head but warm heart」を持って社会課題について考えることを期待したい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学Ⅱ	本科学系	4	堀内・玉上

### 到達目標

数学により表現された言語や事柄を正しく認識し、それをもとに思考する力、適切に表現する力を育てる。  
また、その前提となる、基本的な概念や原理・法則の体系的な理解に希求し、主体的に取り組む姿勢を身につける。

### 授業の進め方・学習方法

演習を中心とした授業。単元によっては復習を兼ねて定義・定理からの確認も含める。  
時間を計った演習も含め、入試に向けた実践的な授業を進めていく。

### 授業スケジュール

1学期	入試演習 2次関数、方程式、不等式	
1学期中間試験		
1学期	入試演習 方程式、不等式	
1学期期末試験		
2学期	入試演習 数と式、微分	
2学期中間試験		
2学期	入試演習 積分、関数	
2学期期末試験		
3学期	入試演習 図形と方程式	
学年末試験		

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
深進 数学Ⅰ/Ⅱ/A/B/C	啓林館	教科書
Grasp 数学Ⅰ/Ⅱ/A/B+C 問題集	啓林館	問題集

### 参考書

書名	著者	出版社	備考
FocusGold数Ⅰ/Ⅱ/A/B+C		啓林館	

### 担当者からのアドバイス

演習を中心とした授業だが、単元ごとにより理解を深められるように家での演習時間も欠かさずにして下さい。  
共通テスト、大学入試に向けた実践的な演習時間も設けるので、常に時間を意識して問題に取り組むようにしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学B	本科学系	3	玉上・堀内

到達目標
数学の基本的な原理・法則を体系的に理解し、主体的に取り組む姿勢を身につける

授業の進め方・学習方法
講義と演習の時間を確保し、学習方法を身に付けていく。 また、同じ講義を受ける仲間と問題に対するアプローチや理解を深めていく。

授業スケジュール	
1学期	深進数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 正規分布（連続的な確率変数）
1学期中間試験	
1学期	深進数学B 第2章 統計的な推測 第2節 正規分布（正規分布） 第3章 区間推定と仮説検定
1学期期末試験	
2学期	入試演習 数列
2学期中間試験	
2学期	入試演習 場合の数・確率
2学期期末試験	
3学期	入試演習 図形の性質
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
深進 数学B	啓林館	教科書	
Focus Gold 数学B+C 5th edition	啓林館	副教材	

担当者からのアドバイス
数学の上達のために、理解を積み上げていくことが必要です。授業内で消化不足のないよう、毎回の授業を大切にしてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学Ⅱ	本科学系	4	堀内、小沢

到達目標
数学の基本的な原理・法則を体系的に理解し、主体的に取り組む姿勢を身につける。

授業の進め方・学習方法
予習を前提に授業をすすめる。授業では理解の確認と演習を行い、個々の定着をはかる。

授業スケジュール	
1学期	第1章 数列の極限 第1節 無限数列 第2節 無限級数 第2章 関数とその極限 第2節 関数の極限と連続性
1学期中間試験	
1学期	第3章 微分法 第1節 微分と導関数
1学期期末試験	
2学期	第3章 微分法 第2節 いろいろな関数の導関数 第3節 導関数の応用 第4節 いろいろな応用
2学期中間試験	
2学期	第4章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分
2学期期末試験	
3学期	第4章 積分法 第3節 積分法の応用
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
深進 数学Ⅲ	啓林館	
grasp 数学Ⅲ	啓林館	
FocusGold 数学Ⅲ	啓林館	

担当者からのアドバイス
理系の基礎となる項目が並びます。過去に学習したことの拡張でもあるので、必要に応じて復習しながら理系としての数学の土台を固めていきましょう。高校数学の醍醐味と言える部分です。ぜひとも楽しみながら、抽象的な議論を具体的な話題を通じて身に付けていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学B	本科学系	2	玉上・小沢

到達目標
数学の基本的な原理・法則を体系的に理解し、主体的に取り組む姿勢を身につける

授業の進め方・学習方法
講義と演習の時間を確保し、学習方法を身に付けていく。 また、同じ講義を受ける仲間と問題に対するアプローチや理解を深めていく。

授業スケジュール	
1学期	深進数学III 第2章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 第2節 関数の極限と連続性
1学期中間試験	
1学期	深進数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2章 正規分布（連続的な確率変数）
1学期期末試験	
2学期	深進数学B 第2章 統計的な推測 第2節 正規分布（正規分布） 第3章 区間推定と仮説検定
2学期中間試験	
2学期	入試演習
2学期期末試験	
3学期	入試演習
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
	書名	出版社	備考
深進	数学III	啓林館	教科書
深進	数学B	啓林館	教科書
Focus Gold	数学III 5th edition	啓林館	副教材
Focus Gold	数学B+C 5th edition	啓林館	副教材

担当者からのアドバイス
数学の上達のために、理解を積み上げていくことが必要です。授業内で消化不足のないよう、毎回の授業を大切にしてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学C	本数理系	2	玉上・堀内

到達目標
数学の基本的な原理・法則を体系的に理解し、主体的に取り組む姿勢を身につける。

授業の進め方・学習方法
予習を前提に授業をすすめる。授業では理解の確認と演習を行い、個々の定着をはかる。

授業スケジュール	
1学期	深進 数学C 第2章 複素数平面 第1節 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数平面 3 ド・モアブルの定理
1学期中間試験	
1学期	深進 数学C 第2章 複素数平面 第2節 複素数平面 1 平面図形と複素数 2 等式の表す図形
1学期期末試験	
2学期	第3章 平面上の曲線 第1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線の共有点 6 2次曲線と離心率
2学期中間試験	
2学期	第2節 媒介変数と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と極方程式 3 いろんな曲線
2学期期末試験	
3学期	入試演習
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
深進 数学C	啓林館	教科書
Grasp数学B+C	啓林館	問題集
Focus Gold 5th Editinon 数学B+C	啓林館	副教材

担当者からのアドバイス
数学の上達のために、理解を積み上げていくことが必要です。授業内で消化不足のないよう、毎回の授業を大切にしてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	物理基礎	本科学系	4	井上

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>物理を通して、帰納的・演繹的思考力を身につける。</li> <li>力学、熱力学、波動の原理や法則を用いて、特定の実験結果を予測したり説明できるようになる。</li> </ul> 大学入試の基礎～標準レベルの問題（力学、熱力学、波動分野）を自力で解けるようになる。

授業の進め方・学習方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>物理基礎では「力学」、「熱力学」、「波動」について学びます。</li> <li>基本的には、             <ol style="list-style-type: none"> <li>①板書による講義により、物理理論の重要事項を伝えます。適宜、法則を発見するに至る帰納的思考や演繹的思考について伝えます。</li> <li>②問題集を用いて、物理理論の重要事項を使う練習をすることによって、思考力を養います。</li> <li>③演示実験により、物理理論と現実との関わりについて説明します。</li> </ol> </li> </ul> ※ 下記の授業スケジュールは進度によって変更する可能性があります。

授業スケジュール	
1学期	第1編 力と運動（教科書「総合物理1」） 第1章 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度 3. 落体の運動（水平投射・斜方投射含む） 第2章 運動の法則 1. 力とのはたらき 2. 力のつりあいとその運動 3. 運動の法則
1学期中間試験	
1学期	第1編 力と運動（教科書「総合物理1」） 第2章 運動の法則 4. 摩擦を受ける運動 5. 液体や気体から受ける力 6. 剛体にかかる力のつり合い 第3章 仕事と力学的エネルギー 1. 仕事 2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー 4. 力学的エネルギーの保存
1学期期末試験	
2学期	第1編 力と運動（教科書「総合物理1」） 第4章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数 第5章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力
2学期中間試験	
2学期	第2編 熱と気体（教科書「総合物理1」） 第1章 熱と物質 1. 熱と熱量 2. 熱と物質の状態 3. 熱と仕事 第2章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 4. 不可逆変化と熱機関
2学期期末試験	
3学期	第3編 波（教科書「総合物理2」） 第1章 波の性質 1. 波と媒質の運動 2. 波の伝わり方 第2章 音 1. 音の性質 2. 発音体の振動と共振・共鳴 3. 音のドップラー効果
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、授業態度、課題の提出状況などから算出する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
総合物理1・2	数研出版		
物理基礎	数研出版		
新課程 リードα 物理基礎・物理	数研出版		

担当者からのアドバイス
<p>様々な科学者が、身の回りの科学をいかに表現するか、絵をかいたり、実験をしてみたり、計算してみたり、と試行錯誤して今の科学技術は生まれました。</p> <p>"物理"では、数学を道具にして自然科学の法則を表したり、その現象をひも解いたりしていきます。一見複雑そうに見える私たちの身の回りにある自然現象がシンプルな数式で表される、その美しさには是非触れてほしいと思います。この過程で、物事を組み立てたり、思考を広げていくことの楽しさを見出すことができたとき、"物理"を超えた様々な分野で活用できる視野が身に着くと思います。</p> <p>授業の中だけでなく、日ごろから頭の中で考えたアイデアをノートに書き起こしたり、思考の筋道を書き残すことを大切にしてください。</p> <p>一緒に頑張っていきましょう！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	化学	本科学系	3	田仲

到達目標
<p>本授業の目標は、化学基礎で学習した概念をもとに「高等学校の化学」で扱う総合的な概念を体系的に理解することである。理論化学分野では、物質の状態変化、気体、溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる能力を養う。また、化学変化に伴うエネルギーの出入りや化学平衡をもとに、化学反応に関する概念や法則を理解する。有機化学分野では、その性質や反応を探究して理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる能力を養う。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>授業は大学入試を意識して展開します。教科書の内容に沿って進めますが、教科書の内容以外でも必要とされる知識・計算方法などを加えています。授業進度に併せてしっかりと復習し、疑問点はそのままにせずその都度調べるようにして下さい。</p>

授業スケジュール	
1学期	第1部 物質の状態 1章 固体の構造 2章 物質の状態変化 第1部 物質の状態 3章 気体の性質 1学期中間試験
1学期	第1部 物質の状態 4章 溶液の性質 第2部 物質の変化と平衡 1章 化学反応と熱・光エネルギー 2章 化学反応と電気エネルギー 3章 反応速度 1学期期末試験
2学期	第2部 4章 化学平衡 第4部 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と分類 2章 脂肪族炭化水素 2学期中間試験
2学期	第4部 有機化合物 3章 酸素を含む脂肪族化合物 4章 芳香族化合物 2学期期末試験
3学期	第5部 高分子化合物 1章 高分子化合物 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 学年末試験

成績評価方法		
	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期考査の結果を主として、授業の取り組みや小テストの結果を加味する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
高等学校 化学	啓林館	
改訂版 リードα	数研出版	

担当者からのアドバイス
<p>高校2年の化学は今まで学習した化学基礎をもとにして大学受験を意識した授業となっていきます。授業展開にしっかりついていけるよう、高1の内容も含め自学習を大切にして下さい。暗記に頼ることなく、化学事象の原理を丁寧に追究することを心掛けて下さい。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	生物基礎	本科学系	2	西山

到達目標
<p>生物学は、生命現象が「どのようにして」、「何のために」起こるのかを探究し、説明する学問です。その学問の基礎を学ぶために、以下の到達目標を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生命現象に対する関心や探究心を身につける。</li> <li>・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。</li> <li>・生物学的な見方、考え方を養う。</li> <li>・身に付けた知識を活用し、自らの考えを表現する力を身につける。</li> <li>・共通テストに対応できる力を身につける。</li> </ul>

授業の進め方・学習方法
<p>授業はプリントを中心に教科書の内容を深めていきます。状況に応じて大学入試問題を演習として取り入れます。暗記するだけでなく、いかに授業内容を理解し、自身の考えの中で暗記した語句や知識を利用するかが重要な科目です。</p>

授業スケジュール	
1学期	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー 1学期中間試験
1学期	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質合成 1学期期末試験
2学期	3章 ヒトのからだの調節（復習） 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生とハイオーム 2学期中間試験
2学期	4章 生物の多様性と生態系 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 2学期期末試験
3学期	共通テスト演習 学年末試験

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、レポート、授業への取り組みなどを総合的に評価します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
生物基礎 i版	啓林館	
センサー生物基礎+生物	啓林館	高1年次に配布済み

担当者からのアドバイス
<p>知識の詰め込みだけでなく、原理現象を理解して進めていきましょう。自分で考えたこと、理解したことを正確に言語化していけるように進めていきたいと思えます。楽しい生物の世界を堪能しましょう！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	生物	本科学系	4	津元

到達目標
<p>生物学は、生命現象が「どのようにして」、「何のために」起こるのかを探究し、説明する学問です。その学問の基礎を学ぶために、以下の到達目標を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生命現象に対する関心や探究心を身につける。</li> <li>・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。</li> <li>・生物学的な見方、考え方を養う。</li> <li>・身に付けた知識を活用し、自らの考えを表現する力を身につける。</li> <li>・難関国公立大学2次試験に対応できる力を身につける。</li> </ul>

授業の進め方・学習方法
<p>授業はプリントを中心に教科書の内容を深めていきます。状況に応じて大学入試問題を演習として取り入れます。暗記するだけではなく、いかに授業内容を理解し、自身の考えの中で暗記した語句や知識を利用するかが重要な科目です。 ※生物基礎「3章 ヒトのからだの調節」は高校1年次の科学と人間生活で学習済み。</p>

授業スケジュール													
1学期	<table border="0"> <tr> <td>【生物】</td> <td>【生物基礎】</td> </tr> <tr> <td>第1部 生物の進化</td> <td>第1部 生物の特徴</td> </tr> <tr> <td>第1章 生物の進化</td> <td>1節 生物の特徴</td> </tr> <tr> <td>第4章 生物の系統</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2部 生命現象と物質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5章 生命と物質</td> <td></td> </tr> </table>	【生物】	【生物基礎】	第1部 生物の進化	第1部 生物の特徴	第1章 生物の進化	1節 生物の特徴	第4章 生物の系統		第2部 生命現象と物質		第5章 生命と物質	
【生物】	【生物基礎】												
第1部 生物の進化	第1部 生物の特徴												
第1章 生物の進化	1節 生物の特徴												
第4章 生物の系統													
第2部 生命現象と物質													
第5章 生命と物質													
1学期中間試験													
1学期	<table border="0"> <tr> <td>【生物】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2部 生命現象と物質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6章 代謝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【生物基礎】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第1部 生物の特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1節 生物の特徴</td> <td></td> </tr> </table>	【生物】		第2部 生命現象と物質		第6章 代謝		【生物基礎】		第1部 生物の特徴		1節 生物の特徴	
【生物】													
第2部 生命現象と物質													
第6章 代謝													
【生物基礎】													
第1部 生物の特徴													
1節 生物の特徴													
1学期期末試験													
2学期	<table border="0"> <tr> <td>【生物】</td> <td>【生物基礎】</td> </tr> <tr> <td>第3部 遺伝情報の発現と発生</td> <td>第2部 遺伝子とその働き</td> </tr> <tr> <td>第7章 遺伝現象と物質</td> <td>2章 遺伝子とその働き</td> </tr> <tr> <td>第1部 生物の進化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2章 有性生殖と遺伝的多様性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3章 進化のしくみ</td> <td></td> </tr> </table>	【生物】	【生物基礎】	第3部 遺伝情報の発現と発生	第2部 遺伝子とその働き	第7章 遺伝現象と物質	2章 遺伝子とその働き	第1部 生物の進化		第2章 有性生殖と遺伝的多様性		第3章 進化のしくみ	
【生物】	【生物基礎】												
第3部 遺伝情報の発現と発生	第2部 遺伝子とその働き												
第7章 遺伝現象と物質	2章 遺伝子とその働き												
第1部 生物の進化													
第2章 有性生殖と遺伝的多様性													
第3章 進化のしくみ													
2学期中間試験													
2学期	<table border="0"> <tr> <td>【生物】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3部 遺伝情報の発現と発生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8章 発生と遺伝子の発現</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9章 バイオテクノロジー</td> <td></td> </tr> </table>	【生物】		第3部 遺伝情報の発現と発生		第8章 発生と遺伝子の発現		第9章 バイオテクノロジー					
【生物】													
第3部 遺伝情報の発現と発生													
第8章 発生と遺伝子の発現													
第9章 バイオテクノロジー													
2学期期末試験													
3学期	<table border="0"> <tr> <td>【生物】</td> <td>【生物基礎】</td> </tr> <tr> <td>第5部 生態と環境</td> <td>第4部 生物の多様性と生態系</td> </tr> <tr> <td>第13章 個体群と生物群集</td> <td>5章 植生と環境</td> </tr> <tr> <td>第14章 生態系</td> <td>6章 生態系とその保全</td> </tr> </table>	【生物】	【生物基礎】	第5部 生態と環境	第4部 生物の多様性と生態系	第13章 個体群と生物群集	5章 植生と環境	第14章 生態系	6章 生態系とその保全				
【生物】	【生物基礎】												
第5部 生態と環境	第4部 生物の多様性と生態系												
第13章 個体群と生物群集	5章 植生と環境												
第14章 生態系	6章 生態系とその保全												
学年末試験													

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、レポート、授業への取り組みなどを総合的に評価します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
生物基礎	啓林館	
生物	啓林館	

参考書			
書名	著者	出版社	備考
センサー総合生物(生物基礎・生物)		啓林館	高校1年次に科学と人間生活の教材として配布済み

担当者からのアドバイス
<p>知識の詰め込みだけでなく、原理現象を理解して進めていきましょう。自分で考えたこと、理解したことを正確に言語化していけるように進めていきたいと思えます。楽しい生物の世界を堪能しましょう！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語コミュニケーションⅡ	本科	2	上田

到達目標
大学入試という目標にむかって4技能を段階的に強化していく。Readingはある程度長い文章を読むことに慣れることと、様々な分野の英文を読むことで背景知識を身につけ、それに伴う語彙力の強化もはかる。Listeningにおいては解法のコツをつかむとともに長めの文章を聞く集中力、耐久力をつける。Writingは教科書等のアクティビティや入試頻出トピックなどで自分の意見を論理的に書ける準備をすすめる。

授業の進め方・学習方法
教科書、副教材を読みすすめ、それに伴うアクティビティに取り組む。必要に応じて、大学入試過去問を取り入れる。

授業スケジュール	
1学期	Element II Lesson 2 Cutting Edge Blue Chapter 1～2
1学期中間試験	
1学期	Element II Lesson 3 Cutting Edge Blue Chapter 3～4
1学期期末試験	
2学期	Element II Lesson 5 Cutting Edge Blue Chapter 5～6
2学期中間試験	
2学期	Element II Lesson 7 Cutting Edge Blue Chapter 7～8
2学期期末試験	
3学期	Element II Lesson 8 Cutting Edge Blue Chapter 9～10
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験、小テスト、授業での取り組みなどを総合的に評価します
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
Element II textbook	啓林館	
Element II workbook	啓林館	
Cutting Edge blue	エミル出版	
ユメリス2	アルク	

参考書			
書名	著者	出版社	備考
基礎英文解釈の技術100		桐原書店	

担当者からのアドバイス
大学入試においてどう英語を活用していくか。それぞれのゴールにむかって高校2年ではまず最低限の力を身につけてください。そのためには毎日の学習のルーティン化が必要です。しっかり計画を立ててそれを実行する強い意志を持ってください。また、入試頻出トピックの背景知識など自身でもアンテナ高く過ごして欲しいです。もちろん授業でも取り扱いますので、安心してください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	論理・表現Ⅱ	本科	2	榎本

#### 到達目標

- ・基礎的な英文法問題に挑戦し、文法知識を確かなものに上げていくことを目指す。
- ・英作文においては、文法・語法の知識を駆使するだけでなく、自然な表現を使った作文を心掛ける。
- ・英文解釈においては、英文の構造を適切に取れるようにするだけでなく、自然な日本語に変換できるようにする。

#### 授業の進め方・学習方法

- ①WORKBOOKで学習する単元の文法事項を例文で説明する。
- ②演習問題を解く
- ③習熟度を測るため小テストを単元ごとに実施
- ④Vintage4th でより実践的な演習を行う

#### 授業スケジュール

1学期	Lesson1 (Vision Quest II) Lesson2 (Vision Quest II)
1学期中間試験	
1学期	Lesson3 (Vision Quest II) Lesson4 (Vision Quest II)
1学期期末試験	
2学期	Lesson5 (Vision Quest II) Lesson6 (Vision Quest II)
2学期中間試験	
2学期	Lesson7 (Vision Quest II) Lesson8 (Vision Quest II)
2学期期末試験	
3学期	Lesson11 (Vision Quest II) Lesson10 (Vision Quest II)
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業態度</li> </ul>
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
Vision Quest II English Logic and Expression Ace	啓林館	
Vision Quest II English Logic and Expression Workbook	啓林館	
Vintage 英文法・語法 4th Edition	いっずな書店	

#### 担当者からのアドバイス

論理的に表現できるようになることが1つのゴールです。その過程においてクラス内で情報共有したり、表現方法を増やしていきます。また Workbook や Vintage で英文法演習を重ね入試への対応力を養います。主体的な学習態度で、視野を広く持って情報を取り入れ、自分の考えを発信していくことを心がけましょう。